

国士館100周年創立記念祭

ハンドボール部

国士館ハンドボール部の歩み

男子部は、昭和38年にハンドボール愛好者である体育学部八期生有志数名が、奔走し、昭和39年春に諸手続きを経たのち、正式な部として創部された。

当初、部員20名弱で活動を開始したが経験者が数名でほとんどが素人のため、部員募集が最大の課題であった。世田谷校舎には練習コートもなく、平日は梅ヶ丘公園で、他のクラブが休む日曜日にグラウンドで練習していた。しばらくして五号館の屋上で練習することが許され、正規コートの半面しか取れない狭い場所ではあったが毎日練習は続けられるようになった。大学にはハンドボール競技を知る指導者がいない状況であり、主将らは日々の練習方法が分からず、日本体育大学の練習を見て練習方法を真似たり、高校生の合宿に合流させてもらったりして練習をしていた。このような経過をたどりながらも昭和40年春関東学生ハンドボール連盟に加盟して3部リーグ戦から参戦した。昭和52年に関東学生春季リーグ戦2部で優勝し、入替戦にも勝利して1部昇格を果たしている。その後、昭和53年に鶴川第三体育館(32Mのコート)を常時使用できる練習場として確保することができ、平成4年に体育学部多摩移転に伴い多摩校舎体育館棟の第2アリーナに悲願であった正規規格の屋内ハンドボールコートが完成した。

女子部は、男子部創部間もない昭和41年に関東学生ハンドボール連盟に所属して活動していたが、昭和48年に部員不足のため廃部された。

女子部の復活は平成2年に一人の女子学生が体育学部に入學して男子部の監督に女子部の復活を願い出て「男子部の練習に一年間ついていけたら」との厳しい条件であったが、自身の夢の実現のため頑張り通して翌年に女子部の復活を成し遂げた。創部当初の男子部と同様に部員の確保が大きな問題であった。平成3年の部員数は3人であり、試合などはできるはずもなく、公式試合に出たいとの思いでハンドボールの授業を見に行き、上手な学生に「ハンドボールの試合に出て欲しい」と頼み込んだり、他学部の学生に経験者がいないか探し回ったりした。このような努力の結果、協力者5人を確保して平成3年秋に関東学生ハンドボール連盟にチーム登録して秋季2部リーグ戦から参戦した。平成5年に高等学校での経験がある新生6人が入部してようやく一般学生の力を借りることなく試合ができるようになった。平成6年に関東学生春季リーグ戦2部で優勝し、入替戦にも勝利して1部昇格を果たしている。

男子部と女子部は共に練習場の確保や部員の確保などの苦難も乗り越えて、男子部は過去3度の全日本学生選手権優勝の成績を上げており、女子部は過去3度の全日本学生選手権3位等の成績を上げている。

卒業生の多くは実業団選手、中学校・高等学校教員、地域指導者となりハンドボール競技の強化と普及に努めている。また、実業団チームでの活躍を求めて就職した者の中にはその力量を評価されて日本代表選手として世界選手権大会やオリンピックアジア予選に出場した者や、ドイツやノルウェーでプロ契約選手やプロ契約のコーチをしている者がいる。

国士館大学ハンドボール部 戦績

年号	競技成績
昭和32年(1958)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和33年(1958)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和34年(1959)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和35年(1960)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和36年(1961)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和37年(1962)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和38年(1963)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和39年(1964)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和40年(1965)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和41年(1966)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和42年(1967)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和43年(1968)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和44年(1969)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和45年(1970)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和46年(1971)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和47年(1972)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和48年(1973)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和49年(1974)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和50年(1975)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和51年(1976)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和52年(1977)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和53年(1978)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和54年(1979)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和55年(1980)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和56年(1981)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和57年(1982)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和58年(1983)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和59年(1984)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和60年(1985)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和61年(1986)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和62年(1987)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和63年(1988)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和64年(1989)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和65年(1990)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和66年(1991)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和67年(1992)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和68年(1993)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和69年(1994)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和70年(1995)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和71年(1996)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和72年(1997)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和73年(1998)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和74年(1999)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和75年(2000)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和76年(2001)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和77年(2002)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和78年(2003)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和79年(2004)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和80年(2005)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和81年(2006)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和82年(2007)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和83年(2008)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和84年(2009)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和85年(2010)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和86年(2011)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和87年(2012)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和88年(2013)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和89年(2014)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和90年(2015)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和91年(2016)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和92年(2017)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和93年(2018)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和94年(2019)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和95年(2020)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和96年(2021)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和97年(2022)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和98年(2023)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和99年(2024)	全日本学生選手権大会(高松) 3位
昭和100年(2025)	全日本学生選手権大会(高松) 3位

年号	競技成績
平成14年(2002)	第10回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成15年(2003)	第11回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成16年(2004)	第12回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成17年(2005)	第13回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成18年(2006)	第14回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成19年(2007)	第15回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成20年(2008)	第16回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成21年(2009)	第17回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成22年(2010)	第18回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成23年(2011)	第19回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成24年(2012)	第20回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成25年(2013)	第21回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成26年(2014)	第22回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成27年(2015)	第23回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成28年(2016)	第24回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成29年(2017)	第25回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成30年(2018)	第26回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成31年(2019)	第27回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成32年(2020)	第28回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成33年(2021)	第29回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成34年(2022)	第30回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成35年(2023)	第31回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成36年(2024)	第32回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位
平成37年(2025)	第33回アジア学生選手権大会(インドネシア) 6位



昭和61年度 全日本学生選手権大会



平成22年全日本学生選手権優勝



平成27年全日本学生選手権優勝



大崎電気 矢内選手(昭和58年卒)



日清製鉄 木村選手(昭和63年卒)



日清製鉄 源内選手(平成3年卒)



日清製鉄 林選手(平成3年卒)



中村荷役 木浪選手(平成6年卒)



トヨタ車体 野村選手(平成9年卒)



大崎電気 豊田選手(平成14年卒)



北国銀行 小野沢選手(平成14年卒)



北国銀行 上町選手(平成15年卒)



大同特殊鋼 末松選手(平成16年卒)



大同特殊鋼 武田選手(平成17年卒)



内林選手(平成14年卒)



中村荷役 八尾選手(平成3年卒)